

## 令和4年度 学校図書館基本計画・評価シート

足立区立第九中学校 校長 佐藤 豊

## 1 学校教育目標

人間尊重の精神を基盤に捉え、自ら学ぶ意欲をもち、社会の変化に主体的に対応し、国際社会で活躍できる知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな生徒を育成する。

## 2 学校図書館の目標・ねらい ー身に付けさせたい資質・能力、意欲・態度ー

課題及び問題解決に向けて主体的に学校図書館を活用して情報収集をしたり、調べたりすることをおして自ら率先して学ぶ態度を育てる。また、様々な文章を読み、それに対して自分の考えを的確に表現する力を高めるとともに他者へ発信できる生徒を育てる。

また、読書習慣を身に付けることで「考える力」「感じる力」「想像する力」「表す力」を育むとともに「教養・価値観・感性」などを身に付けられるよう、自ら本に手を伸ばし、読書活動に意欲的に取り組む生徒を育てる。

## 3 学校図書館の現状（令和3年度末）

蔵書状況	① 蔵書数 15,481冊（蔵書基準冊数 12,640冊）／ 蔵書率 122.5%（元年度末 122.5%）									
	② 新規購入図書 692冊 ／ 廃棄図書 403冊 ／ 増減冊数 289冊									
分類	総記0類	哲学1類	歴史2類	社会3類	自然4類	技術5類	産業6類	芸術7類	言語8類	文学9類
蔵書構成割合	2.6%	2.5%	8.1%	9.0%	7.7%	3.9%	2.5%	11.9%	5.2%	46.6%
*国基準	6%	5%	16%	10%	15%	6%	5%	8%	6%	23%
利活用の状況	① 開館時間：13:05～13:25、放課後から17:20まで									
	② 生徒一人あたりの年間平均貸出冊数 4.85冊（前々年度末：5.37冊）									
	③ 学校図書館利用率 414,700%（前々年度末：314,900%）									

## （令和4年度末）

蔵書状況	① 蔵書数 冊（蔵書基準冊数 冊）／ 蔵書率 %									
	② 新規購入図書 冊 ／ 廃棄図書 冊 ／ 増減冊数 冊									
分類	総記0類	哲学1類	歴史2類	社会3類	自然4類	技術5類	産業6類	芸術7類	言語8類	文学9類
蔵書構成割合										
*国基準	6%	5%	16%	10%	15%	6%	5%	8%	6%	23%
利活用の状況	① 開館時間：（前年度からの変更 あり・なし）									
	② 生徒一人あたりの年間平均貸出冊数 冊（前年度末： 冊）									
	③ 学校図書館利用率 %（前年度末： %）									

## 4 目標達成に向けた今年度の重点指導事項・具体的取り組み

第1学年	① 1学年の総合的な学習の時間のテーマである「食と健康」についての調べ学習の際、書籍とインターネットのそれぞれの利点を活用して情報を検索したり、比較したりして根拠を基に自分の考えを新聞にまとめることができる。	
	② 「朝の10分間読書」を月1回一週間程度行い、読書習慣を身に付ける。	
今年度の成果目標	達成基準	
① 図書館の本やインターネットの情報等を活用しながら探究活動を進め、課題に対して根拠を基に自分の考えを新聞にまとめることができる。	① 根拠を基に自分の考えを新聞にまとめることができる生徒80%	
② 「朝の10分間読書」を通して読書習慣を身に付け、お気に入りの一冊をPOP等で紹介することができる。	② 読書記録を基に今まで読んだ本の中からお気に入りの本の紹介ができる生徒80%	
目標達成状況		
①		
②		
③		

<b>第2学年</b>	<p>① 2 学年の総合的な学習の時間のテーマである「海洋と森林問題」についての調べ学習の際、書籍とインターネットからそれぞれの利点を活用して情報を検索及び比較し、昨今の日本の海洋や自然においての問題について理解を深め、プレゼンテーション資料を作成することができる。</p> <p>② 「朝の 10 分間読書」を月 1 回一週間程度行うことを通して、読書習慣を身に付けるとともに主体的に読書活動に取り組むことができる。</p>
-------------	---

今年度の成果目標	達成基準
<p>① 図書館の本やインターネットの情報等を活用しながら探究活動を進め、ICT 機器を用いて根拠に基づく自分の考えをプレゼンテーション資料にわかりやすくまとめることができる。</p> <p>② 「朝の 10 分間読書」を通して読書習慣を身に付け、お気に入りの本をブックトーク形式などで紹介することができる。</p>	<p>① 根拠を基に自分の考えを ICT 機器と用いてプレゼンテーション資料にまとめることができる生徒 90%</p> <p>② 読書記録を基に今まで読んだ本の中から数冊選びブックトーク形式でクラスメイトに本の紹介ができる生徒 80%</p>

<b>目標達成状況</b>
<p>①</p> <p>②</p> <p>③</p>

<b>第3学年</b>	<p>① 3 学年の総合的な学習の時間のテーマである「気候変動とその影響」についての調べ学習の際、書籍とインターネットからそれぞれの利点を活用して情報を検索及び比較し、今後自分たちができることは何かをまとめ発信することができる。</p> <p>② 「朝の 10 分間読書」を月 1 回一週間程度行うことを通して、読書習慣を身に付けるとともに主体的に読書活動に取り組む。そして、読書の楽しさを伝えあったり、自分の考える力や感じる力を向上させたりすることができる。</p>
-------------	--

今年度の成果目標	達成基準
<p>① 図書館の本やインターネットの情報等を活用しながら探究活動を進め、ICT 機器を用いて根拠に基づく自分の考えをプレゼンテーション資料にわかりやすくまとめることができる。また、今後自分たちができることは何かの具体策を考え発信することができる。</p> <p>② 「朝の 10 分間読書」を通して読書習慣を身に付け、私のお気に入りの一冊をビブリオバトル形式などで紹介することができる。</p>	<p>① 根拠を基に自分の考えを新聞にまとめることができる生徒 80%</p> <p>② 読書記録を基に今まで読んだ本の中からお気に入りの一冊を選び、ビブリオバトル形式で本の紹介ができる生徒 90%</p>

<b>目標達成状況</b>
<p>①</p> <p>②</p> <p>③</p>

## 5 学校図書館環境整備に関する取組計画・方針及び成果・効果

取組計画・方針	成果・効果
<p><b>【蔵書・配架等に関すること】</b></p> <p>・蔵書構成割合に偏りがある分類及び総合的な学習の時間等で活用できる資料型の書籍を計画的に購入し、調べ学習等で活用できるよう前期までに購入を終了する。</p>	
<p><b>【学校図書館支援員との連携・協働】</b></p> <p>・総合的な学習の時間に実施するSDGsの調べ学習の際、生徒自身が課題及び問題解決に向けて情報収集をしたり、調べたり主体的に取り組めるよう、レファレンスサービスを学校図書館支援員と協働する。また、必要な資料を毎授業前までに準備してもらい、スムーズ学習に取り組めるようする。</p>	

**【その他】**

・梅田図書館との「調べ学習用図書」の配送サービスの積極的な活用を図る。

**6 学校図書館運営全体に関する自己評価（成果・課題・改善の方向性等）**

**7 学校図書館の取り組みに対する評価・要望等（学校関係者から）**